

公開セミナー 生と死の倫理

第12回
since 2009

どなたでも参加できます。参加費無料。

様々な家族のカタチ2

LGBTと 家族形成

性の多様性を認めることは、家族の多様性を認めることです。シンポジウムでは、2020年12月に成立した民法特例法を踏まえ、「様々な家族のカタチ」を知り、考え、議論します。

2021年

6月19日(土)

13:30~16:30

岡山大学鹿田キャンパス
オンライン開催

Zoomで開催

(スマホでもPCでもタブレットでも可)
要事前申込(締切:6月18日15時まで)
二次元コード読み取りもしくは
メール(josan@cc.okayama-u.ac.jp)
で参加をお申し込みください。
Zoomの使い方の説明・当日の招待をお送りします



シンポジウム プログラム

13:30~13:40 あいさつ
LGBT当事者の「家族のカタチ」
岡山大学大学院保健学研究科 中塚幹也

13:40~14:00
提供精子による人工授精と
トランスジェンダー
慶應義塾大学病院 リプロダクションセンター
センター長 浜谷 敏生

14:00~14:20
「LGBTと家族形成」に関連する法律
岡山商科大学法学部 穴戸圭介

14:20~14:40
提供精子による生殖医療の
取材から現場から
読売新聞 大阪本社 社会部 川崎陽子

15:00~15:20
LGBTQ 子どものいる未来を~私たちの現状とこれから
一般社団法人 こどもつづ
代表理事 長村さと子 理事 高橋千春

15:20~15:40
台湾のLGBTと家族形成
岡山大学大学院保健学研究科
客員研究員(非常勤講師) 于麗玲

15:40~16:00
LGBT当事者と「生殖医療で子どもを持つこと」
全国産婦人科調査2018, および, 全国一般人調査2019から
岡山大学大学院保健学研究科 中塚幹也

16:00~16:30
総合討論



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう

第62回 日本母性衛生学会(岡山)のシンポジウムでもこのテーマで議論予定です。 <https://www.kwcs.jp/62bosei/>

2021年度 科学研究費補助金基盤研究(B)
配偶子凍結保存の増加と「ライフプラン」
「ジェンダー観」の変化に関する学際的研究



「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax:086-235-6538

E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

中塚研究室 ホームページ
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>